

## 令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学習指導要領の目標に照らしたより良い教育課程を編成する。</li> <li>②「自ら未来を切り拓く人材」の育成に向けた継続的で一貫した意識付け・動機付けを実践する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学習指導要領の円滑な実施を目指し、単位制の特色を活かした履修指導を行う。</li> <li>②1人1台端末などICT機器の活用によるプログラミング教育の充実を通じて、生徒の論理的思考力の育成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①希望進路の実現に向け、3年間の見通しをもった履修計画を立てさせる。</li> <li>②研修、研究授業の充実を図り、全ての教科でプログラミング教育の推進に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①履修計画作成にあたって、履修指導は適切に行われたか。</li> <li>②十分な研修、研究授業は行われたか。生徒にプログラミング的思考を身に付けさせることができたか。</li> </ul>
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>①様々な生徒の状況を把握し、個々に対応した支援体制を構築する。</li> <li>②学校行事等を通じて生徒が主体的に取り組む態度を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①生徒個々の状況を把握して、組織的に個別支援できる体制を充実させる。</li> <li>②生徒主体で学校行事を企画・立案・実施できるよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①SC・SSWと連携するなど組織として生徒を支援する。</li> <li>②学校行事の委員会を中心に指導・運営する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①情報共有や連携を図り、協力して課題への対応及び支援ができたか。</li> <li>②生徒主体で学校行事等を運営できたか。</li> </ul>
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自らの進路を主体的に切り開いていくため個に応じたキャリア観を育成し、進路指導の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を見通したキャリア計画を立て、生徒が自ら進路選択できるようなキャリア観を育成するとともに生徒の進路実現をめざす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各年次の目標と計画を検討し、適切な時期に講演会をはじめとするガイダンスおよび外部模試を実施していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各年次で適切に講演会やガイダンスを実施し、生徒がおおむね満足できたか。</li> </ul>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の社会参画の意欲向上に努め、地域等との連携・協働による教育活動の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事等を通じて、生徒と保護者・地域住民との交流を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域等との連携を深め、事前学習を行って社会と関わりあうことの大切さと、社会に貢献する態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事等を通じて、学校と地域住民との連携を高めることができたか。</li> </ul>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教育環境を整備し、より快適な学校づくりを進める。</li> <li>②職員の働き方改革を実現する学校管理体制を追求する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ICT機器を有効に活用できる教育機器を整備する。</li> <li>②業務の効率化を進め、タイムマネジメント意識の醸成を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ICT機器が有機的に連携できる環境を考慮しつつ整備する。</li> <li>②ICT機器の利活用などにより文書作成などの効率化を図り、効果的な情報共有の定着に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ICT機器が有機的に連携し、活用できる環境が整備できたか。</li> <li>②事務作業の軽減が図られ、自己研鑽や教材研究に向けたゆとりが得られたか。</li> </ul>